

2007年に九州の13大学が共同で、大学院の枠組みの中でがん専門の職業人を養成するプログラムを立ちあげて、3年が経過しました。

福岡大学では、医学研究科、薬学研究科が中心となり2008年4月より大学院生を受け入れ、両研究科より卒業生が出てきております。

またインテンシブコースにおきましては、看護師・薬剤師のためのオンコロジーセミナーを開催し、毎年200名以上の参加者があり、専門医師系ではがん薬物療法専門医が3名誕生しています。

この度、下記の要領で中間報告会を開催いたします。皆様のご出席をお待ち申し上げます。



～文部科学省がんプロフェッショナル養成プラン採択プログラム
「九州がんプロフェッショナル養成プラン」～

「福岡大学がんプロフェッショナル養成プラン (福大がんプロ)」 中間報告会

場所：福岡大学病院 福大メディカルホール

(地下鉄七隈線 福大前下車 徒歩1分)

日時：2月23日(水) 16:00～18:00

司会 田村和夫(福大がんプロ コーディネーター)

1. 福岡大学がんプロフェッショナル養成プランの概要 16:00
田村和夫(コーディネーター)
2. 中間報告 16:05
専門医系 田村和夫(医学研究科 先端医療科学系臨床腫瘍学専攻 教授)
薬剤師系 二神幸次郎(薬学研究科 博士課程前期医療薬学専修 教授)
3. 講演 16:25
『九州がんプロフェッショナル養成プランの中間評価とポストがんプロについて』
森田 勝、前原喜彦(九州がんプロフェッショナル養成プラン養成協議会 /
九州大学大学院医学研究院 消化器・総合外科学)
4. 総合討論 16:55
『福岡大学がんプロフェッショナル養成プランの中間評価ならびにポストがんプロについて』
森田 勝、黒木政秀(医学研究科先端医療科学系臨床腫瘍学専攻)、
中山樹一郎(医学研究科臨床腫瘍学専攻)、二神幸次郎、田村和夫
5. 大学院生発表 17:20
『急性骨髄性白血病の Gemtuzumab ozogamicin に対する耐性とその克服』
松本太一(福岡大学医学研究科臨床腫瘍学専攻 4年)
『蛍光誘導体化法を利用した生体中有機フッ素化合物の分析
—血中パーフルオロ関連化合物の分析—』
林田博志(福岡大学薬学研究科臨床分析学専修 2年)

問い合わせ：医学部事務課・医学研究科担当(内線3013～3016)